作曲:湯浅讓一校歌作詞:大岡 信



「生きる力」

- ○社会に開かれた教育課程
- ○カリキュラム・マネジメント
- ○主体的・対話的で深い学び

「有徳の人」の育成

~誰一人取り残さない教育の実現~

明日を拓く 輝く 「ふじの人」づくり -緒に学ぶ 一生学ぶ



豊かな心(徳)

ア豊かな心を育む道徳教育の充実

重点項目「希望と勇気」「努力と強い意志」 「親切・思いやり」

- イお互いを思いやり、協働し合う生徒指導の充実 ◇当たり前のことを当たり前にできる生活習慣の
- ・学校内外における挨拶の励行
- ・持ち物、履物等の整理整頓の徹底
- ◇温かな人間関係づくり
- 「ほかほか」言葉の定着。「さん」を付けて名前を呼ぶ。 ◇子供の心に寄り添う取組
- ・教職員が子供一人一人を大切にする(人権意識)
- ・小さなことでもチームで指導・支援
- ウ人とつながる特別活動の充実
- ・児童会活動、学級活動、委員会活動における企 画・運営力の育成
- ・SDG s を意識した委員会活動
- エ系統性をもたせたキャリア教育の取組
- ・道徳科の3校授業交流による系統性の検証
- ・「よこの連携」によるキャリア教育の展開
- 〇学校では、楽しく生活ができている。95%
- 〇学校では、安心して生活している。 95%
- O「おはよう」「さようなら」「あいがとう」などのあいさつがで きている。 95%
- 〇友達と協力して生活している。90%
- **Oほかほか言葉で話している。90%**
- 〇目標をもって最後まで諦めず努力している。90%
- **Oよい悪いの判断ができている。90%**
- 〇進んで友達を助けたり、励ましたりしている。90%

岳陽中学校 ↔ 広見小学校 ↔ 丘小学校

小中一貫教育目標 一生懸命 がんばる

重点目標:やってみよう やりぬこう

学校経営目標

仲間とともに「生き生きと挑戦する子供」を育む学校

- 〇主体的に聴き、考え、生き生きと表現し合いながら学びを深める 授業づくり
- 〇お互いを思いやい、協働し合う仲間づくり
- 〇家庭・地域とともに、挑戦する一人一人の子供を支える教職員集団

確かな学力(知)

研修テーマ

情報活用能力を発揮し、 学びを深める子の育成 ~「集めて つなげて 考える」

ICT の効果的な活用を通して~

- ア情報活用能力を発揮し、学びを深める子の育成 ◇子供中心の授業
 - 「学び手の視点で授業をつくる」
- 「学びの実感を積み重ねる」 ☆授業づくりは学級づくり 学級づくりは学校づくり
- ・「指導と評価の一体化」
- 形成的評価によるフィードバック及び授業改善
- ・具体的な子供の学ぶ姿から研修を深める
- ・子供の姿から学び、子供の姿で語る
- ◇基本的な学習習慣の確立
- ・家庭学習の習慣化(「家庭学習の手引き」の活用)
- ・読書指導の推進、語彙力の強化
- ◇情報活用能力の育成→発揮
- ・ICT の効果的活用(情報収集・情報の整理、比較する力、 発信・伝達・保存共有する力、情報手段の適切な操作の 習得、情報モラル、情報セキュリティー力、情報活用力、 プログラミング的思考力、タイピング力の育成)
- ・学校図書館の活用 (学校司書との連携)
- イ教科担任制(教科分担制)の実施
- ウ個に寄り添った特別支援教育の充実
- <u>バーサルデザインの視点による学習環境、授業づくり</u>
- 〇学校で学ぶことが楽しい。90%
- 〇自分の意見や思いを友達や周いの人に伝えている。85%
- O家庭学習や自主勉強に取り組んでいる。85%
- 〇自分から進んで読書をしている。85%
- **〇授業を理解している。95%**
- 〇全国学力・学習状況調査、児童質問紙の回答結果
- 〇情報活用能力測定アセスメント「P プラス」の調査結果

【校章によせて】 富岳の如く 雄大な 身体に強い意志をもち 駿河の海の 深淵な 広き心を胸に秘め 末来の日本を築く子に 広見の子等にたくす夢

【目指す子供の姿】

- ◎よい悪いの判断のもとに本気で 物事に打ち込み、最後まであき らめない主体的な姿
- ◎自分のためだけではなく、人を 思って尽くし、励まし合い、認 め合い、支え合う姿



健やかな体(体)

ア運動が習慣化する指導・支援の工夫

- ・運動を継続する意欲をもたせる体育科授業の工夫 (体育カード、運動カード)
- イ基本的な健康習慣の確立
- **◇健康に関する指導の充実**(健康チェックカード)
 - 養護教諭による保健指導(授業等)の実施
- ・「早寝、早起き、朝ごはん」の励行
- ・保健だより、保健委員会活動等による啓発
- ・健康な生活を送るための清掃指導 (黙働清掃)
- ◇食育に関する指導の充実
- ・栄養教諭による食育(授業等)の実施
- 給食だより、給食委員会活動等による啓発 ウ命を守る安全教育の充実
- ・交通安全教室(1、4年)、交通安全リーダーと語る 会(6年)の実施
- ・防犯教室、不審者訓練等の実施
- ・避難訓練(地震、火災)、引き渡し訓練の実施
- ・危機管理意識をもった安全点検(月1回)の確実な 実施と速やかな対処

〇自分の目当てに向かって運動をがんばっている。 85%

- 〇手洗い、早寝、早起き、朝ご飯などの健康づくりを意識して 生活している。90%
- 〇自分の命は自分で守っている。90%
- 〇苦手な食べ物でも、少しは食べるようにしている。90%
- 〇黙って一生懸命掃除をしている。90%

Action .

コミュニティスクールの推進

Check

【地域とともにある学校】

○地域との連携

○家庭との連携

- · 学習公開、個人面談
- ・家庭学習の習慣化 ・各種たよりの発行
- ・メール配信の活用

- ・PTA役員との連携
- ○CS ボランティアとの連携 ・図書館ボランティア
- ・購買ボランティア
- ・読み聞かせの会
- ・見守り隊(登下校)

・学校運営協議会の開催(年3回) ・地域行事との連携、幼保中との連携 ・キャリア教育の協働

- ・「ひろみっこ」、CS だよりの発行
- ・HPやメール配信の活用
- ・学習支援ボランティア · 奉仕作業等、環境整備

小中一貫教育

【たての接続を意識した教育活動の展開・目指す子供像の共有】 ◇前期(小1~小4)中期(小5~中1)後期(中2~中3)で 付けたい力を明確にした各教科・領域9年間カリキュラムの

- 確認
- ◇小中9年間の系統性をもたせたキャリア教育の構築
- ◇グランドデザインの統一
- 9年間における目指す子供像の共有 ◇学校評価アンケート項目の共有
 - ○ICT の効果的活用の情報共有
- ○3校授業公開の実施
- ○キャリアパスポートを活用した記録 ◇児童会・生徒会交流

安心・安全な学校

○施設設備等の管理

- ・遊具、運動場の点検
- ・教室、廊下等の点検
- ・器具、道具の管理
- ・プールの管理、点検
- ○緊急時の対応
- ・校内事故対応マニュ アルによる対応
- ・避難訓練の実施
- ・不審者対応訓練の実施
- ○信用・信頼の構築
- ・コンプライアンスの徹底
- ・高い倫理観の自覚 ・学校評価アンケートの実施
- ○安全指導
- ・登下校の指導
- ・校内生活の指導
- ・ルールの徹底

○情報の共有

- ・アレルギー等の身体的 配慮事項の情報共有
- ・連絡体制の整備